

「福岡水素タウン」で家庭用燃料電池「エネファーム」1号機設置式典開催 ～ 水素エネルギーを利用する世界最大のモデル都市、いよいよ始動 ～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、福岡県および西部ガスエネルギー株式会社(社長:遠藤 恭介)と共同で、福岡県前原(まえばる)市の簡易ガス団地※1に家庭用燃料電池「エネファーム」を150台規模で集中的に設置する世界最大の「水素タウン」の整備を進めております。このたび「エネファーム」1号機の設置を完了し、記念式典を執り行いましたのでお知らせいたします。

これは、福岡県と福岡水素エネルギー戦略会議※2が環境にやさしい水素エネルギー社会を世界に先駆けて実現するために今年度から展開している「福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)」の社会実証事業の第一弾として行われるものであり、この規模での集中設置は世界で初めての取り組みです。

式典では、麻生 渡 福岡県知事、松本 嶺男 前原市長、松村 幾敏 当社副社長執行役員 などの主催者挨拶に続き、ご来賓を代表して、資源エネルギー庁 燃料電池推進室長 の 川原 誠 様から祝辞を頂いた後、テープカットおよび除幕が行われ、運転を始めた「エネファーム」が披露されました。

式典終了後には、一般市民の皆様などを対象として「南美(みなみ)のみんなでECOチャレンジ!!」と題したイベントを開催し、科学マジックショーやエコクイズ大会などを通して、エネルギーや地球環境、自分で出来るエコなどについて皆様楽しく学んでいただきました。

環境に優しいエネルギーシステム「エネファーム」は、世界に先駆けていよいよ来年度から国内市場向けに本格販売が開始される予定です。当社は、「エネファーム」の普及促進に取り組むことにより、グループ理念である「エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献」してまいります。

※1 簡易ガス団地

70世帯以上の集合住宅地等にLPガス大型ボンベなどを設置し、導管により各世帯にLPガスを供給するもの。簡易ガス事業は、ガス事業法の認可が必要で供給義務が課されている公益事業。

※2 福岡水素エネルギー戦略会議

水素の製造・輸送・貯蔵から利用までの一貫した研究開発や社会実証、全国唯一の人材育成などに取り組む全国最大の産学官連携組織。2004年8月発足、会員数482企業・機関(2008年10月1日現在)。

別添資料  「福岡水素タウン」1号機設置記念式典 概要 (PDF:186.2KB)

以上